

# 中学校 社会科 の事例

設定した言語活動を通して育てたい力

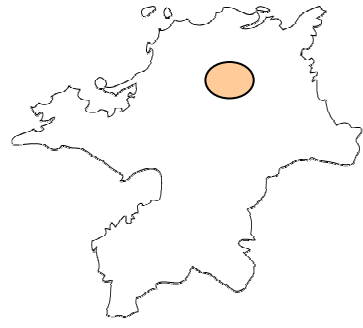
○ 地形や輸送手段等に着目して、工業団地ができた理由を多面的・多角的に考え、地形図や分布図を用いて根拠や解釈を示しながら説明することができる。

思考力、表現力の育成

- 学年 第2学年
- 単元名 九州地方の産業（地理的分野）
- 本時の目標 筑豊地方の工業生産物や生産高の変化を読み取ることを通して、筑豊地方でICなどの小型・軽量の製品の生産が盛んとなった（地方的特殊性）理由を、歴史的な背景、地形（自然的条件）や輸送機関（社会的条件）等との関係から考察し説明することができる。
- 学習の流れ（4時間目／全6時間）

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 〔評価方法〕
1 本時の学習課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼた山の写真と石炭産出量のグラフをもとに、北九州工業地帯の学習で学んだ筑豊地方の多くの炭鉱が閉山されたことを確認し、現在の様子への関心を高める。</li> <li>・エネルギー革命の概要を説明する。</li> </ul>	
筑豊地方の工業生産の変化の様子をとらえ、その理由を考えよう。		
2 筑豊地方の工業生産の変化をとらえる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1960年頃と2005年頃の筑豊地方の土地利用図を比較させる。 →炭鉱だった場所が、工業団地やIC工場になっている。高速道路ができています。</li> <li>・ぼた山に隣接する工業団地の写真を示し、変化を実感させる。</li> </ul>	
3 筑豊地方に工業団地ができた理由を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで学習した工業地域の立地条件とその理由（地理的な見方や考え方）をカードで確認させる。</li> <li>・筑豊地方の工業団地の企業（業種）一覧を提示する。 →軽量・小型の製品を製造する企業が多い。</li> <li>・工業地域の発展についての既習の見方や考え方を活用させ、地図を活用して話し合わせる。 →内陸部で大型船舶を使うことはできないため、大きくて重たい製品を輸送することは難しい。</li> <li>→周辺に高速道路が整備されていて、トラックでの輸送に適している。</li> <li>・話合いの内容を踏まえ、筑豊地方に工業団地ができた理由をワークシートにまとめさせ、説明させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筑豊地方に工業団地ができた理由を地形や輸送手段等と関連付け、地形図を活用して説明している。 〔社会的な思考・判断・表現〕 〔ワークシートの記述〕</li> </ul>
4 本時のまとめを確認し自己評価カードに記入する。		
5 次時の予告を聞き課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九州地方でIC工場が多く集まっている地域を地図帳で調べ、印をつけておくよう指示する。</li> </ul>	

言語活動の充実



## 指導のポイント

地理的事象を羅列的に提示するのではなく、「事象間の関連」を考察させる

■ 地理的事象を羅列的に示すのではなく、「そうした地理的事象がなぜそこでそのようにみられるのか」「なぜそのように分布したり移り変わったりするのか」等の問いにより考察させることによって、事象間の関連や地理的事象に関する法則性や概念が習得でき、地理的な見方や考え方の基礎を培うことができます。

覚えることが多いなあ…

・筑豊地方には炭鉱がありました。  
・今は高速道路が整備されています。  
・工業団地で生産されているものは、アルミサッシ、即席ラーメン、それから…

工夫

なぜ、筑豊地方にこのような工業団地が見られるのだろうか？

### 〔学んだ見方や考え方を生かす〕

これまでに学習した地理的な見方や考え方を生かして、事例地域を考察させることにより、生徒の地理的な見方や考え方を深めることができます。これまでの学習を振り返り、「工業地帯はどこに発達していたか。また、それはなぜか。」ということを確認し、本時の学習に生かすことが大切です。

そのためには、単元のまとめ等の時間において、生徒に学習した見方や考え方を、その理由とともにノートにまとめさせ、指導者はカード等に整理していくと活用しやすくなります。

確か…  
「工業地帯は、海の近く」「工業製品は船を使って運ぶ」って習ったよ。

内陸部には精密機械が発達していたわ。

地図を見ると、近くに高速道路や幹線道路が整備されているよ。

この工業団地の製品は、小さくて軽いものだし、輸送先は国内だから、輸送にはトラックが便利よ。

工業地域周辺には、その工業に適した輸送機関が整備されているんだ！

### 地図を活用させる

■ 地理的事象を位置や空間的な広がりのかかわりでとらえ、それを地域の環境条件や他地域との結び付きなどと関連付けて考察させるには、地図の活用が欠かせません。また、考察した結果を分布図や地図を用いて説明し合う活動を取り入れることで、生徒は根拠や解釈を示しながら自分の言葉で説明できるようになります。

### 新学習指導要領では 言語活動にかかわる学習を一層充実

- 今回の改訂では、社会的な見方や考え方を養うことをより一層重視する観点に立って、言語活動にかかわる学習の一層の充実が示されました。地理的分野では、「地図を有効に活用して事象を説明したり、自分の解釈を加えて論述したり、意見交換したりするなどの学習活動を充実させる」ことが示されています。
- 本事例では、筑豊地方に工業団地が立地した理由を、主として製品と輸送機関との関連について、これまでに学習した地理的な見方や考え方を活用し、地図を用いて考察させる学習活動を位置付けています。これにより、生徒の地理的な見方や考え方の補充・深化・統合が図られ、より多面的・多角的な考察ができるようになります。

